

平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 二 俣 一 登
(コード番号 5343 名証第2部)
問合せ先 常務取締役 宮 鍋 和 夫
(TEL. 076-276-2121)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 14 日に公表した平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|------|-------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 17,000 | 20 | 20 | △150 | △7 円 13 銭 |
| 今回発表実績 (B) | 15,591 | △200 | △61 | △218 | △10 円 37 銭 |
| 増減額 (B - A) | △1,408 | △220 | △81 | △68 | |
| 増減率 (%) | △8.3 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期) | 16,639 | △473 | △382 | △477 | △25 円 51 銭 |

(注) 1. 1 株当たり当期純利益は期中平均株式数により算出しています。

2. 当社は、平成 26 年 9 月 30 日付にて第三者割当による新株式発行を行っています。したがって、前回発表予想 (A) および今回発表実績 (B) における 1 株当たり純利益の算定に当たっては、割当株式数 4,600,000 株の増加を反映しています。

2. 差異の理由

売上高は、主に住設環境機器事業における小型浄化槽の減収および陶磁器事業における国内販売の不振が影響し、予想値を下回る結果となりました。

営業利益は、住設環境機器事業におけるシステムバスルーム、陶磁器事業における海外市場、機能性セラミック商品事業におけるセラフィーユ®（積層基板）等の堅調な推移が貢献し、予想値比ならびに前連結会計年度比で改善した一方、他の部門では当初見込んでいた売上高の達成には至らず、収益を圧迫し、予想値を下回る結果となりました。

経常利益および当期純利益は、外国為替相場の変動による為替差益や平成 26 年 3 月期に計上した鉛対策費用の戻入額（特別利益）の発生がありましたが、上述の利益圧迫要因の影響により、いずれも予想値を下回る結果となりました。

以 上